

2022年1月17日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
株式会社三菱UFJ銀行

## 三菱UFJ銀行とLiquidity Capital社による2号ファンド設立について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 かめざわ ひろのり 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は本日、Mars Growth Capital Pte. Ltd.<sup>[1]</sup>（以下 Mars Growth Capital 社）を無限責任組合員、当行を有限責任組合員とする新たなファンド（以下 2号ファンド）を設立することを目的として、Mars Growth Capital 社と組合契約を締結いたしました。

当行は、2020年8月にイスラエル国のフィンテック企業である Liquidity Capital M.C. Ltd.（以下 Liquidity Capital 社）と合弁契約を締結し<sup>[2]</sup>、1号ファンドを立ち上げました。1号ファンドでは、Liquidity Capital 社が持つ先進的な AI 技術を駆使し、主にミドルステージにあるスタートアップ企業にファイナンスを提供し、2021年9月には、更なる事業の拡大が見込まれることから、当行からの出資約束金を80百万米ドルから200百万米ドルに増額し<sup>[3]</sup>、2021年12月末時点で計12社と融資契約を締結しております。

今回新たに設立する2号ファンドは当行からの出資約束金300百万米ドルを原資に、主にレイターステージの領域にあり、近い将来の IPO も視野に入れるプレユニコーン企業およびユニコーン企業<sup>[4]</sup>にファイナンスを提供いたします。また、将来的には当該企業に対し、MUFG 全体でのより広範な金融機能の提供も展望しております。

新型コロナウイルスの感染拡大を経て、アジアでは社会のデジタル化とオンラインサービスの普及が急速に進んでいます。また、この潮流を支えるテクノロジー企業への注目度が高まっており、多くのユニコーン企業が誕生するとともに IPO を実施する企業の数も急速に増加しています。当行は1号ファンドおよび新たに設立する2号ファンドを通じ、スタートアップ企業の成長段階からその後の IPO に至るまでの成長をファイナンス面で支援することで、新産業の育成およびテクノロジーを活用した社会課題の解決に更に貢献してまいります。

### 【2号ファンドの概要】

名称	Mars Growth Capital Pre-Unicorn Fund, LP
設立予定日	2022年1月中
出資約束金総額	300百万米ドル
無限責任組合員（GP）	Mars Growth Capital Pte. Ltd.
有限責任組合員（LP）	株式会社三菱UFJ銀行
対象企業	プレユニコーン企業およびユニコーン企業

<sup>[1]</sup>Mars Growth Capital Pte. Ltd.の詳細については、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.marsgrowth.com/>

<sup>[2]</sup> Liquidity Capital M.C. Ltd.との合弁事業の詳細については、以下のリンクをご参照ください。

[https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2020/pdf/news-20200807-001\\_ja.pdf](https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2020/pdf/news-20200807-001_ja.pdf)

<sup>[3]</sup> 1号ファンドの詳細については、以下のリンクをご参照ください。

[https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210901-001\\_ja.pdf](https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210901-001_ja.pdf)

<sup>[4]</sup> ユニコーン企業は評価額10億米ドル以上の未上場のスタートアップ企業。プレユニコーン企業は今後1年以内にユニコーン企業になることが見込まれる企業。

以 上